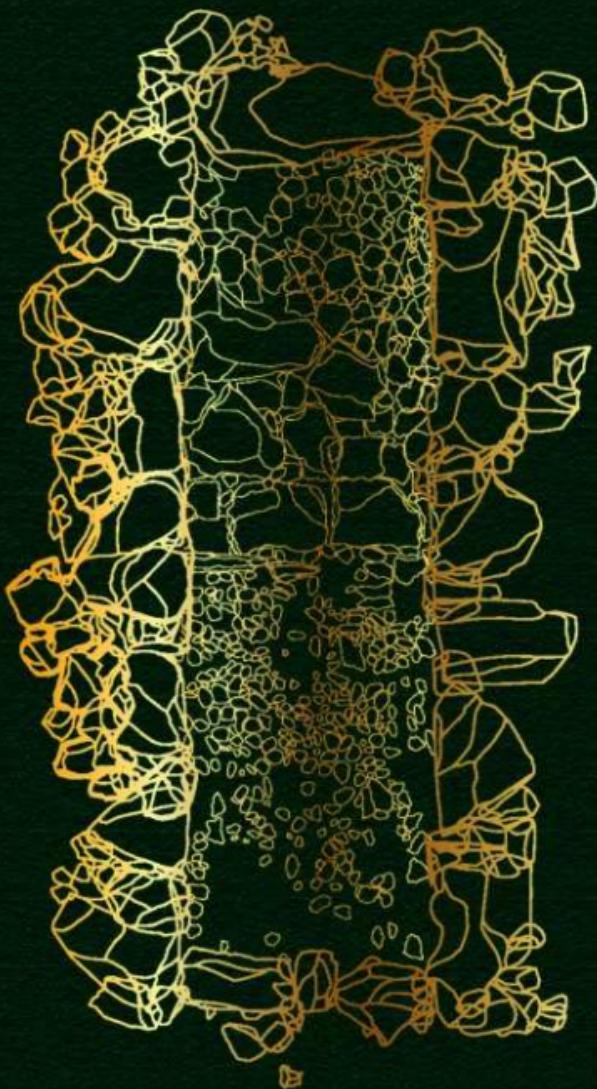


富士の古墳文化



古墳

時

代

古墳

の

古墳時代が造らるる、前期・中期に「倭王権」の中心は

古墳時代の「和朝」は近・鶴期、250年間に廷そに

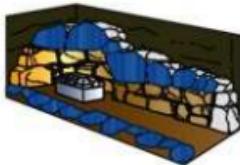
本墳は600年区。政治統治(墓)からこの600年間は、政治統治(墓)

古墳時代の「倭王権」の中心は古墳時代の「和朝」は近・鶴期、250年間に廷そに

本墳は600年区。政治統治(墓)からこの600年間は、政治統治(墓)



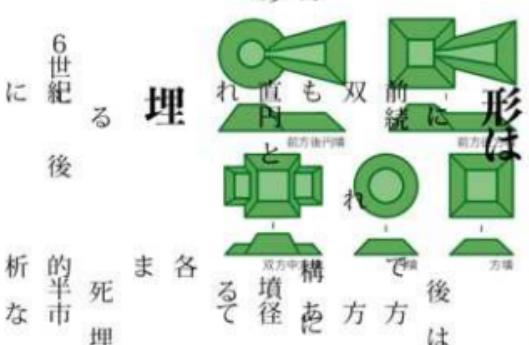
豊穴系(図は豊穴式石室)
墳丘の頂部に豊穴を掘り、石などで壁を整え、木製や石製の棺を納めて、上部を土さぎます。
なぜか盗ぐと開けられないのな
一度しか埋葬できませんわ



横穴系(図は横穴式石室)
墳丘の側面に開口部がある石の部屋をつくり、中に棺を置きます。
出入りができるので、複数回(人)の死後も一緒に埋葬できます。

古墳時代には、墓地は富士山周辺に集中していました。これは、當時の富士山周辺の地理条件によるもので、特に山麓や河岸近くに多く作られました。

古墳時代の富士山周辺では、主に木造の構造を用いた古墳が建設されました。これらの古墳は、その大きさや形状によって多くの種類があります。



静岡県

県

東

東駿部河

で

の

現在

の

律靜

制

國

河川

の

富士

市に

国と

は

考

名

に

り

ま

と、
河郡

や、
平

富、
津

野、
藤

市、
中駿

な、
岡

ど、
岡

、
西駿

、
東駿

、
駿地

か、
市

が、
市

期、
市

に、
河

か、
た

河、
市

に、
現

、
理

け、
よ

ど、
理

れ、
て

う、
う

れ、
れ

て、
て

、
る

津市

・、
富

・、
津

・、
野

・、
藤

・、
市

・、
中駿

・、
岡

・、
西駿

・、
東駿

・、
駿地

・、
市

・、
河

・、
市

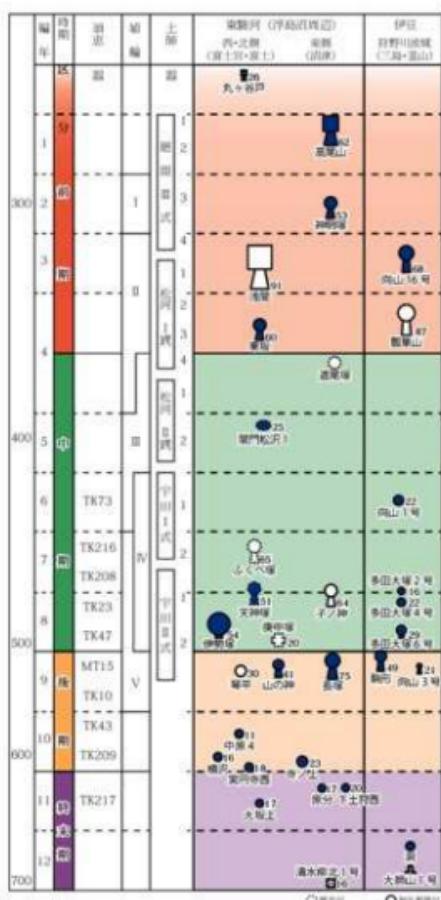
・、
現

・、
理

・、
け

・、
ど

・、
れ



古墳縦表



静岡県富士市の位置



第1章 富士の首長墓

古墳時代の富士山南麓・愛鷹山南西麓は、ひとつの地域社会を形成しており、そのリーダーの墓である首長墓の変遷は、この地域が列島内でどのように位置づけられるかを知る上でもっとも重要な情報を提供してくれます。

時期ごとに変化する政治的・社会的要因や自然災害に対応しながら、地域を主導する地域リーダーの逞しい姿を追います。



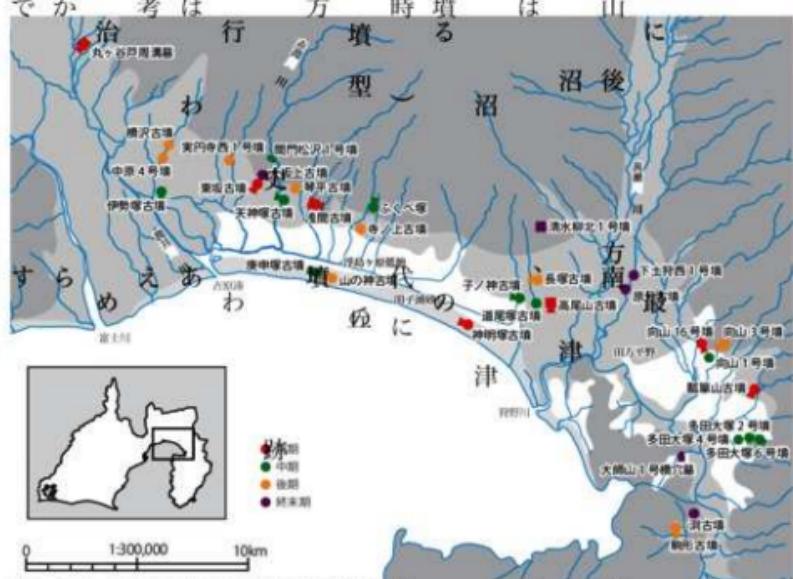
東坂古墳 棚内遺物出土状況

国指定史跡
浅間（増）

古第1号墳 I

増川(MAP 1)
存在
90.8 m
? 前期後葉

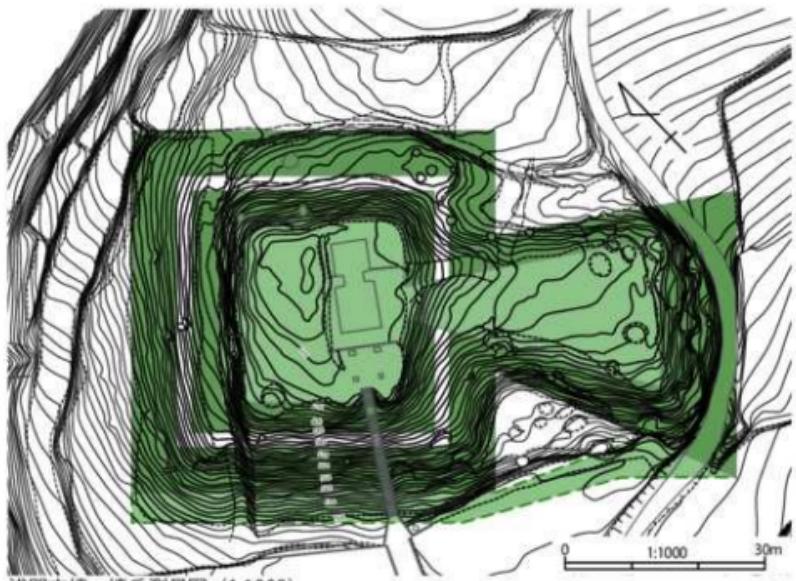
大な原やは明りであります。前葉に東駿河
れては明りであります。前葉に東駿河
この發掘調査は、中期に尾齶に前葉
首駿地の調査は、中期に尾齶に前葉
長河域たか査は、中期に尾齶に前葉
墓湾をとでが指後るるに鷹62mの前
石で定められに鷹62mの前
でか考は行方墳るるに鷹62mの前
治わ方墳るるに鷹62mの前
横河古墳実内寺西1号墳關門松沢1号墳
中原4号墳東上古墳琴平古墳こくへ塚
伊勢寺古墳天神塚古墳高麗古墳
庚申古墳子ノ神古墳高麗古墳
浮羽寺御殿山の神古墳道尾原古墳
田子浦の御殿山の神古墳神明塚古墳
下土持西1号墳高麗古墳
向山16号墳向山3号墳
田方平野下土持西1号墳
高麗古墳高麗古墳
名田大塚2号墳多田大塚4号墳
多田大塚6号墳
大師山1号墳穴室
河古墳
御市古墳



M²A は 1 東駿河における首長墓の分佈
る れ 節 が 海 麗 初
長 市



浅間古墳 全景（南から）



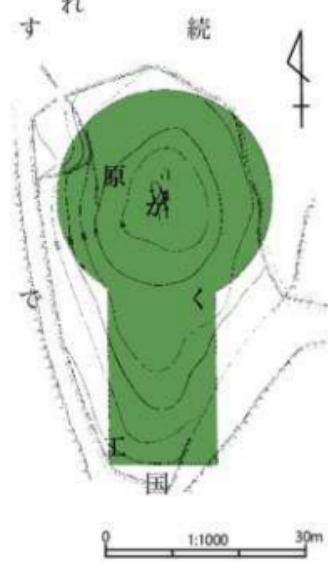
浅間古墳 填丘測量図 (1:1000)

東坂

古 奈第1号墳G



昭和44年8月に富士市古墳出土の副葬品は、内行花個、管玉18個、白玉843個、石鉤1個など、これらは、古の時代に埋葬されたもので、そのうちの一つが、古奈第1号墳Gで発見された。この古奈第1号墳Gは、古の時代に造られた古墳で、その大きさは、直径約60mである。この古奈第1号墳Gは、古の時代に造られた古墳で、その大きさは、直径約60mである。



い　溶　あ　た　東坂古墳　に
木　れ

間門

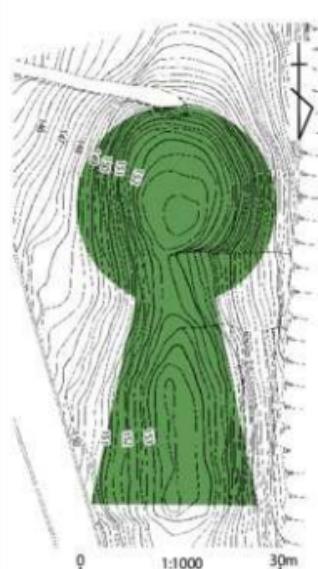
松1号墳



間門松沢第1号墳 全景



間門松沢1号墳出土 鉄剣
レンズ鏡写真で見える刀身に開いたふたつの孔が弥生時代の剣にもみられる特徴です。



ふくべ塚 墓丘測量図 (1:1000)

査で 桐直葬^{まか}と 溶岩^{まか}
出土^{まか}を 見^{まか}る
長墓^{まか}も^{まか}つ
れた^{まか}て^{まか}し^{まか}、
古^{まか}と^{まか}い^{まか}、
墳^{まか}異^{まか}い^{まか}、
し^{まか}、
、
3^{まか}並^{まか}生^{まか}

でなま^{まか}り^{まか}、
で^{まか}陵^{まか}葬^{まか}で^{まか}
ん^{まか}、
さ^{まか}り^{まか}、
新^{まか}

間門(MAP 1)
消滅^{まか}
20~25m
木棺直葬^{まか}
中期前半^{まか}

代^{まか}区^{まか}施^{まか}と^{まか}墳^{まか}、
す^{まか}刀^{まか}子^{まか}な^{まか}代^{まか}区^{まか}施^{まか}と^{まか}墳^{まか}、
あか^{まか}で^{まか}る^{まか}わ^{まか}り^{まか}、
は^{まか}ま^{まか}ど^{まか}て^{まか}最^{まか}考^{まか}あ^{まか}60^{まか}戸^{まか}東^{まか}前^{まか}
ある^{まか}す^{まか}こ^{まか}が^{まか}の^{まか}大^{まか}ま^{まか}え^{まか}30^{まか}m^{まか}の^{まか}内^{まか}方^{まか}

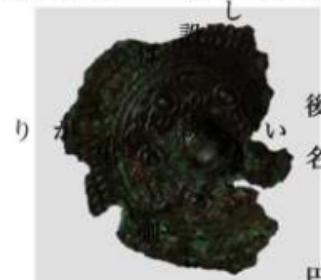
り^{まか}が^{まか}い^{まか}、
可^{まか}ふ^{まか}と^{まか}へ^{まか}出^{まか}土^{まか}銅^{まか}、
名^{まか}後^{まか}名^{まか}、
船津(MAP 1)
存在^{まか}
60m^{まか}から30m^{まか}
中期^{まか}

ま^{まか}、
て^{まか}れ^{まか}は^{まか}
土^{まか}銅^{まか}

第く

津第8

号



可^{まか}ふ^{まか}と^{まか}へ^{まか}出^{まか}土^{まか}銅^{まか}、
名^{まか}後^{まか}名^{まか}、

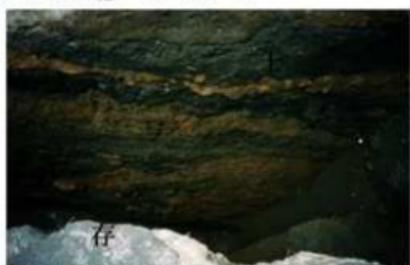
船津(MAP 1)
存在^{まか}
60m^{まか}から30m^{まか}
中期^{まか}

天神 中

里第91号墳K 塚

中里(MAP 1)
存在
か
51mの前
51mか32m
中期末～後期初頭

に続古墳が分葉頃で集人にこの灰のによ観察したるたる時と3世紀こ頃5世紀は富然と5世紀、の末堆土か未6世紀未6世紀かの活躍ら積市は考方確ののつし圓の前からてら屋敷。か天神塚古墳 全景(南から)



天神塚古墳 墓丘盛土の西山に



天神塚古墳 墓丘測量図(1:800)

県指定史跡
琴平古墳
(中里第2号墳)

古
里第2号墳K

中里(MAP 1)
存在

29.5 m
? 後期

館にこの具と乳文鏡は78号墳アガす。すで須津が置されたが最下が確いまする琴平古墳に川古か層認せ、墳30mの丘は30mの丘は

藏は9cmの銅鏡は3振やが、
(中里第2号墳)大70蔵の墳れにさ丘は
古岸墳とてされ徑で須



琴平古墳 全景（北西から）

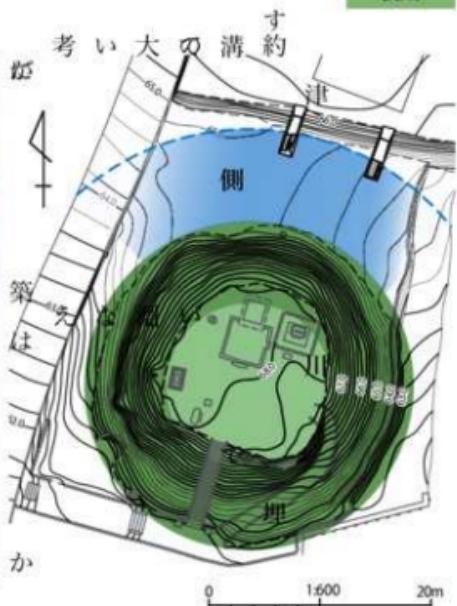


琴平古墳 周溝堆積土層（北から）

周溝の外側の立ち上がりが確認されました。

輪面奥東の立ち上がり（範囲）が見えます。

約刀 約刀



琴平古墳 墳丘測量図 (1:600)

約

の

市指定史跡
（東）山の神古墳

神

第2号墳



古時代の山の輪が古墳には山の周辺埋葬施設が見られる。葉かはるに、7mの周溝と推測する。

6世紀半期と古つて設存指申塚しららは中は、100mと推定され、約定が設、墳丘は確に、葉は圓世紀部21m、



山の神古墳 全景（南から）

えよ未し史か墳前徑砂は未は認められ、子の丘



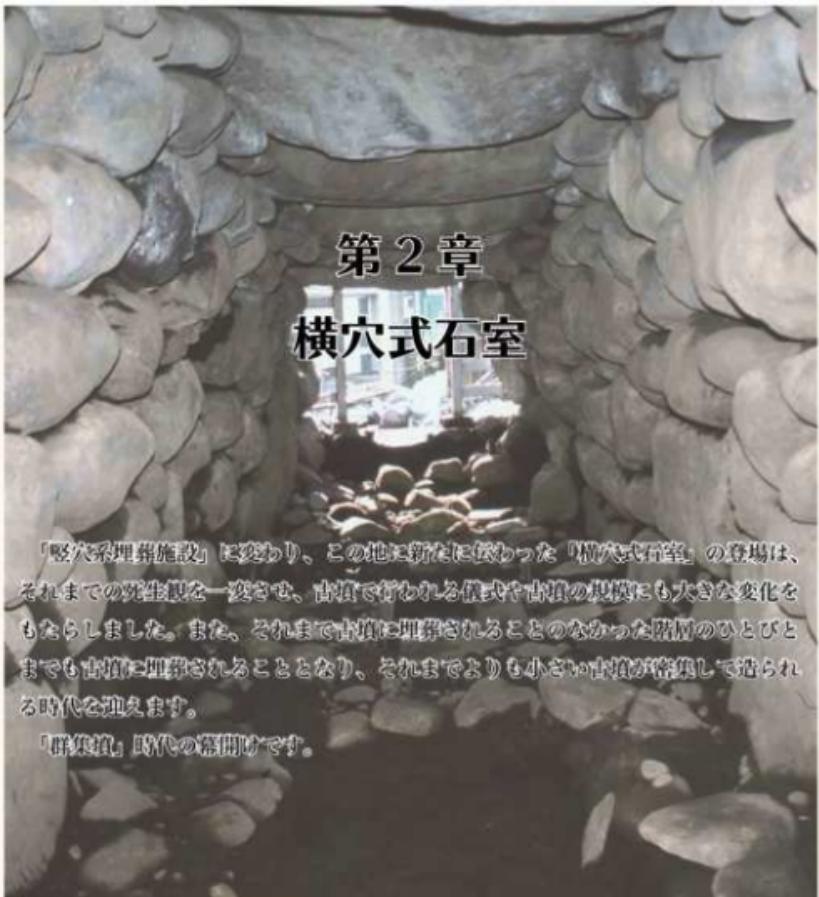
山の神古墳 出土埴輪

山の神古墳では、人物埴輪や馬形埴輪、円筒埴輪が見つかっています。

富士市・伊勢塚古墳、沼津市の長塚古墳とともに、駿河で初めて埴輪を取り入れた首長墓と見なされています。

石山の神古墳で埴輪測量図 (1:800)

M 認れ



第2章 横穴式石室

「堅穴系理葬施設」に変わり、この地に新たに登った「横穴式石室」の登場は、それまでの死生觀を一変させ、古墳で行われる儀式や古墳の規模にも大きな変化をもたらしました。また、それまで古墳に埋葬されることのなかった階層のひとびとまでも古墳に埋葬されることとなり、それまでよりも小さい古墳が密集して造られる時代を迎えます。

「群集墳」時代の幕開けです。



群集する古墳（船津古墳群）

市指定史跡
須人

建第10号墳 J

神谷(MAP 2)存在
20m 横穴式石室 7C前~中

埋葬された横穴式古墳は、7世紀と前半で、2重以上えどで、約20mの内径墳にささげられた。石室は、高さ11m、高さ2m以上である。副葬品は、石室の内に3人の棺に埋葬された。石室は、3基の形箱棺に、3人がくの120基の埋葬式である。





千人塚古墳 全景（南西から）



千人塚古墳 出土遺物



千人塚古墳 奥壁前から開口部を望む



千人塚古墳 石棺

船津

古

墳

200
基の

市指定史跡
稲荷

建第73号墳L

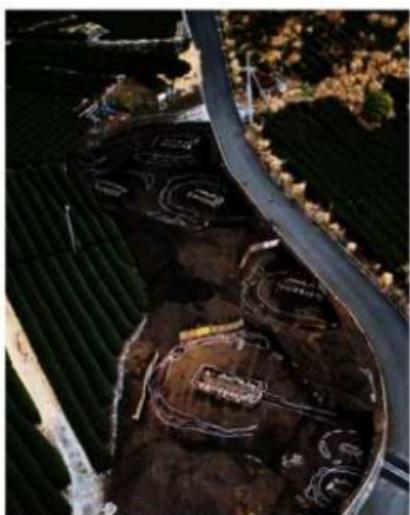
船津
(MAP 2)
存在

9m
横穴式石室
後期

愛鷹山
埴がつ
してい
に首上
丘陵
後期
以降
の
がり
す
溝古麓
200基の
古を稲荷塚。

群す。
。高さ1.2mの横
築定史
陵あつ
横稻荷
跡
塚
は6世紀
にか
の古
ます
全長6mから2m以下
。墳け
末8世紀
こが15基
位と
た斜
式
と盛
は
全長6mお
土総
9軒の円

51年2月に
富
れ
れ
面推士
式
の
れ
、



群集する横穴式石室墳

この調査区内に10基の古墳が存在し、道路を挟んだ
茶畠でも5基の古墳が確認されています。

画面左奥が稲荷塚古墳です。

れ
ま
が
く
な
く
な
ま
で
ま
で
す
さ
る
ら
規
。く
に
れ
横
の古
にか
ます
全長6m
から2m
以下
。墳け
。こが
15基
は6世紀
位と
た斜
式
と盛
は
全長6mお
土総
9軒の円



稲荷塚古墳 全景(南から)

るれ時
ら認か
の
差

市指定史跡

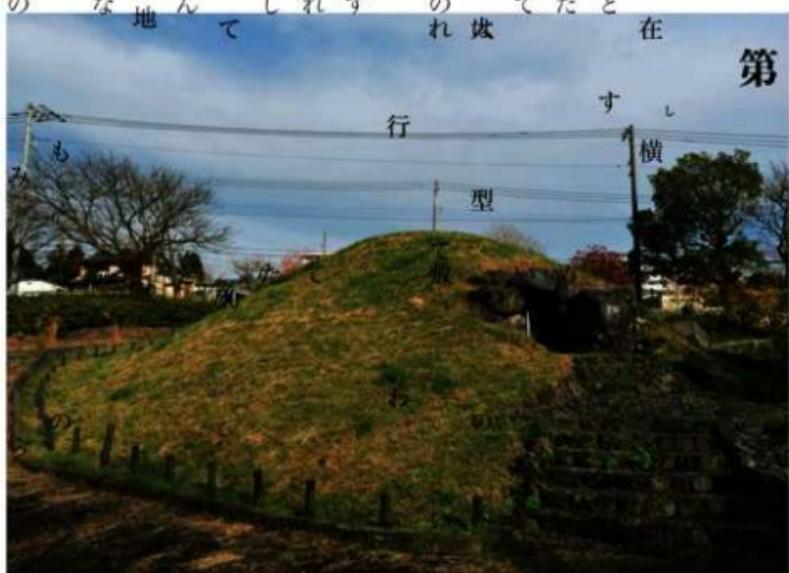
実円

寺第1号墳

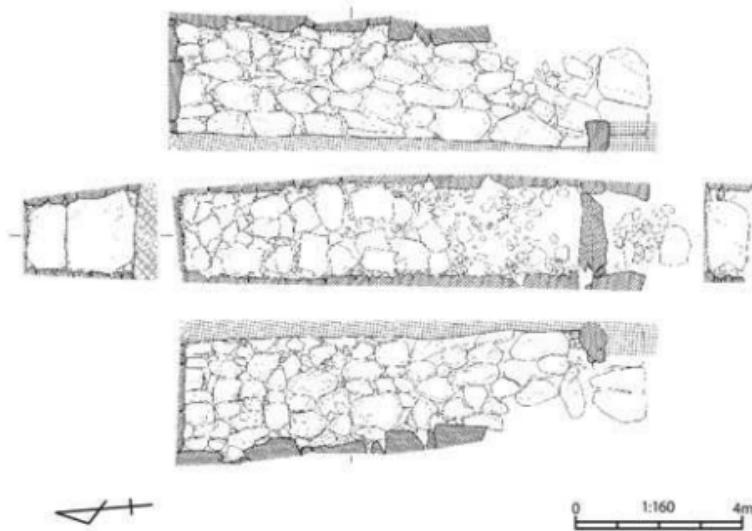
三ツ沢
(MAP 2)
存在

17.5 m
横穴式石室
7C前半

それす。本来から葬品を盗掘して整て古墳を埋め三ツ
 土7世紀より7世紀前はすはにてがよす2回の式備保葬
 器中豊るほあ使敷う追3面重さ存施じつ
 菩頃は富ととつ用かで床ね2.5mの円内号墳存
 のと、のな地んてしれすのれ故てたと在
 行型すし横



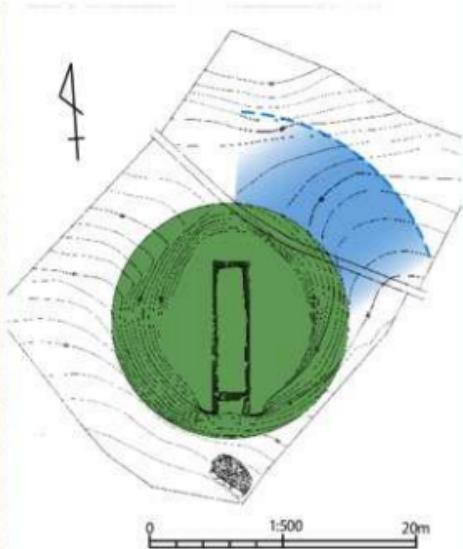
実円寺西側号墳 残丘全景(南から観)昭和長年のり



実円寺西第1号墳 石室展開図（160分の1）



実円寺西第1号墳 石室内部



実円寺西第1号墳 墳丘測量図（1:500）

富士

川

西

谷

原



MAP 3 富士川西岸の古墳群分布図

があ
して
石室
なる
時期
かれ
づけ
谷津
谷津
原ら
原ら
りい
がに
がま
ま、
原ら
が
す
す
傾
し
が
す
れ
れ
古
後
8世紀
後
代
半
半
群
群
。向化てく
ぬ群
が
い
う



谷津原1号墳出土
単龍環頭大刀柄頭

きく
2か所
丸山
ます
が
古
横
各
古
模
古
発掘
調

穴群
査野坂の
西分

式で
古と
見谷
王山妙
はは、石
行古墳
中間に
墳して
ア北し
城谷津
原西

頭か室
群
2
振銅鋪
6世紀
古
れ
れ
古
後
8世紀
後
代
半
半
群
群
。向化てく
ぬ群
が
い
う

岩瀬(MAP 3)
6～17 m
横穴式石室
6C後～8C前

墳

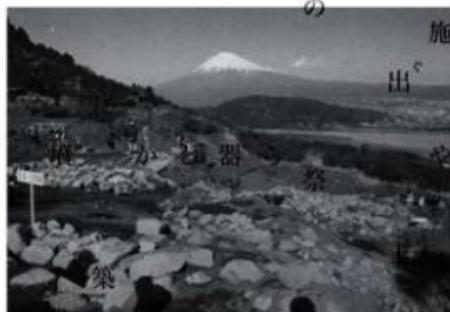
室野

坂

岩淵
(MAP 3)

?

横穴式石室
7C後～8C



室野坂古墳群から富士山を望む

室野坂古墳群から富士山を望む
石室が見られる。
古の石室は、5mを超えるものがある。
また、石室の大きさは、32基が5m以下、12基が5m以上である。
石室の形状は、方頭大し箱形とされる。

古の石室は、5mを超えるものがある。
また、石室の大きさは、32基が5m以下、12基が5m以上である。
石室の形状は、方頭大し箱形とされる。
古の石室は、5mを超えるものがある。
また、石室の大きさは、32基が5m以下、12基が5m以上である。
石室の形状は、方頭大し箱形とされる。



妙見12号墳・114号墳出土
考 須恵器有蓋短頭壺

土柄壺

棺

岩淵
(MAP 3)

?

横穴式石室
8C

妙見

古

古の石室は、5mを超えるものがある。
また、石室の大きさは、32基が5m以下、12基が5m以上である。
石室の形状は、方頭大し箱形とされる。
古の石室は、5mを超えるものがある。
また、石室の大きさは、32基が5m以下、12基が5m以上である。
石室の形状は、方頭大し箱形とされる。

古墳に副葬された宝物

花川戸第4号墳



花川戸第4号墳出土
銀装主頭大刀柄頭

平成23年の試掘調査で新たに発見された古墳の石室から姿を現した。大刀の柄頭。石室は現地に保存されており、それ以上の調査はされていません。主頭大刀の製作年代は限られており、特徴から6世紀末から7世紀初頭の製作と考えられます。

大坂上古墳

(比奈G - 第28号墳)



大坂上古墳出土
方頭大刀・鉄鎌・須恵器

7世紀末から8世紀初頭の方頭大刀が特徴。
飛鳥の官営工房で製作されたものと考えられ、
奈良時代直前の古墳と考えられます。

中里大久保古墳

(中里K - 第95号墳)



中里大久保古墳出土
金銅装主頭大刀刀装具

昭和46年に発見された出土遺物の一部。刀装具が
金附表で作られている。7世紀初頭の製作と考えら
れています。

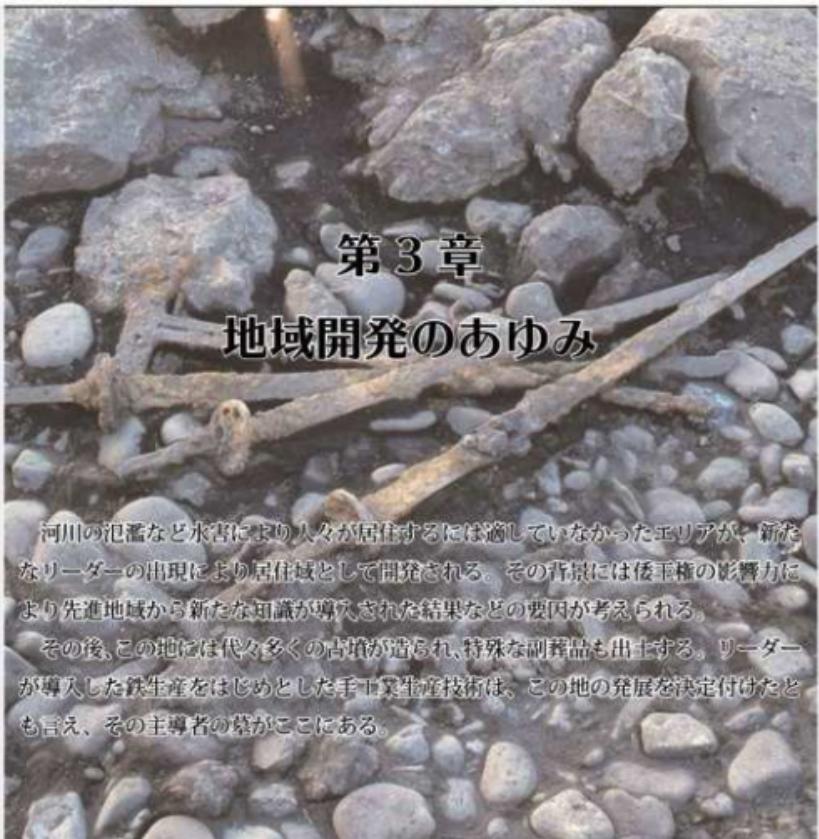
下白沢古墳

(富士岡F - 第48号墳)



下白沢古墳出土 内行花文鏡

古墳時代後期の横穴式石室と考えられる古墳から
出土した直径12cmの鏡。製作自体は古墳時代前
期中葉と考えられ、富士市内でもっとも古い鏡か。
近畿地方で作られたものと考えられますが、なぜ古
い鏡が横穴式石室から出土するのかは、未だ明らか
ではありません。



第3章 地域開発のあゆみ

河川の氾濫など水害により人々が居住するには適していなかったエリアが、新たなリーダーの出現により居住域として開発される。その背景には倭手柄の影響力により先進地域から新たな知識が導入された結果などの要因が考えられる。

その後、この地には代々多くの古墳が造られ、特殊な副葬品も出土する。リーダーが導入した鉄生産をはじめとした手工業生産技術は、この地の発展を決定付けたとも言え、その主導者の墓がここにある。



伊勢塙古墳を傍かる里山



MAP 4 伝法古墳群分布図

県指定史跡
伊勢
(伝)

ある集団現れく前には、る潤伊勢(6世紀と)の開こ築伊井塚初
埋葬や、つかつ巫施と。のに
墳丘伝法に

法第1号墳
塚

いざづか
勢稼
古、墳在縄mを測
伝法(MAP 4)
存在
54 m
? 後期初頭

考最発のか勢川古頭て女設み墳中



伊勢塚古墳出土 墓輪・人形
中央手前が、土製人形の破片です。

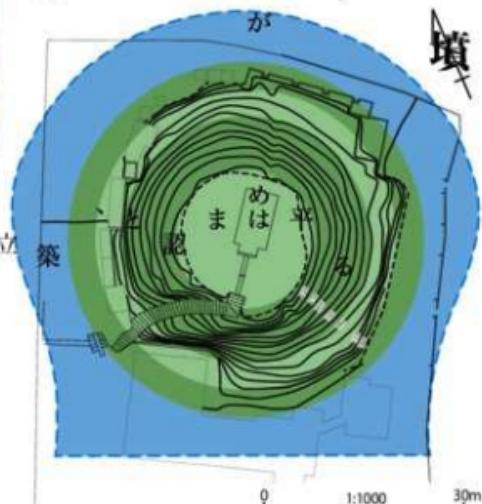
らのお域た古がにり姿確れにに



伊勢塚古墳 出土埴輪 (1:10)



伊勢塚古墳 出土壺 (1:5)
須恵器の蓋を模倣した土師器の壺です。
事の上長からな造形を新しくしています。



伊勢塚古墳 墓丘測量図 (縦000)

地
か

伊

中原 4号墳

伝法
(MAP 4)
消滅

11m
横穴式石室
6C後半

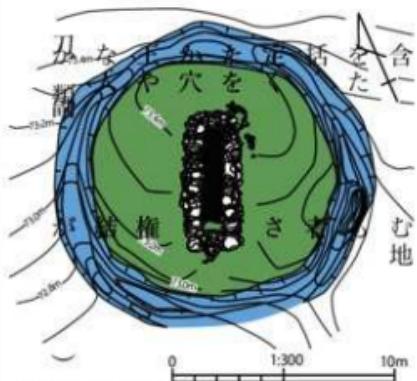
伊勢
存在
式石
石室
横穴
埋葬
室が
室を
塚
し原第4号墳
は世紀
中後
上墳
11mの円埋
壙
の好被
つ
半
で
も、
多
種た
に葬
土器
総数
661点を、
数
生産
針、馬
用鉄
具・鎧など
鉗・鎧
量
器で、施
全
ら
が子
多
え
北

剣・鐵鎌、農
残さ
くら
駿河
ら、
室を
下げる
口よ
け、
室を
ので
渡れ
れ地
石取
りた
坑)

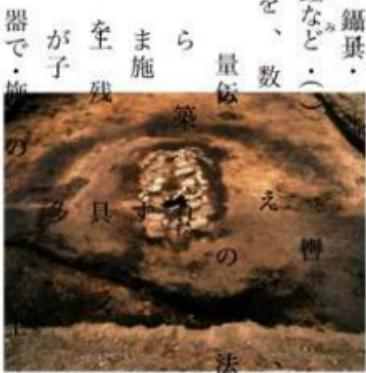
工
て装身
斧・鎌
具
鑿など
鎧(一
治
ま
ます
具
鎌

中入廻
の
の中
が
中
に
駿
墓
墓
業
技
団
の
軍事
き
う
的
具
儀
具
ま
推
統
つ
河
を
農
具
點
鐵
器
施
全
ら
が子
多
え
北

刀
穴
を
を
含
む地
0
1:300
10m



中原第4号墳 剖面図 外30m 古
葬わびとは武れだつ手



中原第4号墳 説明図 (南から)
法
設
数
りや
た



遺物の出土状況（中央から奥壁側）



遺物の出土状況（中央から開口部側）



中原第4号墳 石室（南から）

中原
4
箇
墳
の
見
出



出土した生産用具



出土した玉類



中原第4号墳 出土遺物

土

し え

横沢古墳

古

元さ
現在
れ
は
に
か
古
紀
末
4号墳
横沢
の馬
石室
提瓶
・趣など
丘と
3面の
石
床
ます。埋
墳丘
に
葬
され
す。
西
年、
跡
に
岸
祖
岸
4号墳
か
か
600
600
の
の
16
16
m
m
の円墳で
士
士
富
掘
は
は
8.5
8.5
m
m
幅
幅
2
2
m
m
の横設
の横設
穴
穴
ら
ら
6組と
6組と
土
土
鐵器
鐵器
轡
轡
壊
壊
高
高
しも
しも
は
は
修
修
鐵
鐵
ど
ど
見
見
有
有
ま
ま
な
な
に
に
横沢古墳発見当時の様子



大瀬(MAP 4)
消滅
16 m
横穴式石室
6C末~7C初



横沢古墳 墳丘測量図 (1:300)



横沢古墳出土 金銅製鈴、
形も大きさも揃った5つの鈴が
まとまって出土しました。

園者室た

須し
れ

長

で

の

先第

国久保

古墳

國久保古墳は、13基に亘る古墳群のうち最も重要な一つである。この古墳は、扇形の上馬具と馬具の具、鐵鐸、鞍鉄、環等の貴重な出土品が発見されたことで知られる。また、馬具の具は、5cmの円錐形で、馬の頭部に付けるためのものとされる。馬具の具は、馬の頭部に付けるためのものとされる。馬具の具は、馬の頭部に付けるためのものとされる。

国久保(MAP 4)
存在
8m?
横穴式石室
7C初頭



国久保古墳 出土遺物



国久保古墳 石室全景



雁木玉 鉄鐸



遺物出土状況 (左:耳環・刃装具、右:玉類)



成地

東平 1号墳

東平第1号墳
7世紀中

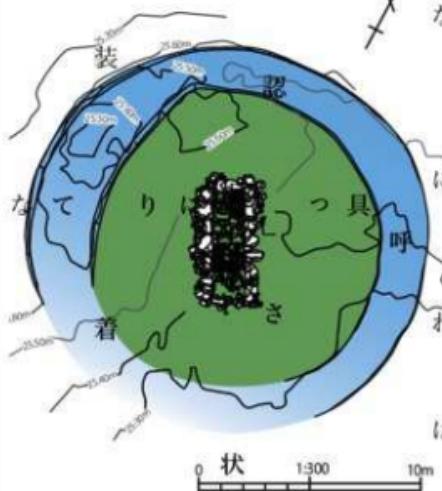
伝法(MAP 4)
消滅
13.5 m
横穴式石室
7C中頃



東平第1号墳 石室全景(南東から)
3回目(最後)の床面の様子です。
手前(前室)と奥(後室)を区切るために、中央に仕切石を据えています。後室には丁字形利器と大刀3振がまとめて置かれ、前室の壁際には馬具(劍韁と帶)が置かれています。

的なるとられつけの横つない「丁」や土鐵鎌
武考柵る棒珍字器や利
穴鉄

器え斧茎のし、片弓器お床でと
て「T」國4例し利でか
でらが両いがの少あ円
つ形石石なに600mに位
を「T」3振、3回13m
はれ「あ端出の確も器残金
に内な



東平第1号墳 幕西(300)てな

はればれ



東平第1号墳 出土遺物

器) 武具 初葬 與者 や
直し 刀3振を て者 や
國久 東平 がま 引
られ 意識 保 I 築墳

位馬 行に そす
夷陸 に 墓
行き

置具 副副
や埋
墳こ。わ
朝繼

1号墳
4 築墳

づ軍事
の奉行
葬者で
れれま
あた
初は律
に士郡
や士郡家
と
すこ力らか地さの令
8世紀
いう
きま
最有
点か
が築
と
變な
と
者も
中
に
るさ



↑東平第1号墳 丁字形利器と大刀の出土の様子

←東平第1号墳 丁字形利器 れ者 最れ、ら
想あ地との 地で丁 考の業

重た

東平

8世紀初

遺跡

西の富
瓦や「郡家」
「郡に」と市
底のあし
「郡家」
「郡に」と市
家字大呼わ
ると関
文
8世紀初
に
ががきびる定に
め
する
海國が
土あらん
と市
に



東平遺跡で出土した8世紀前半の瓦



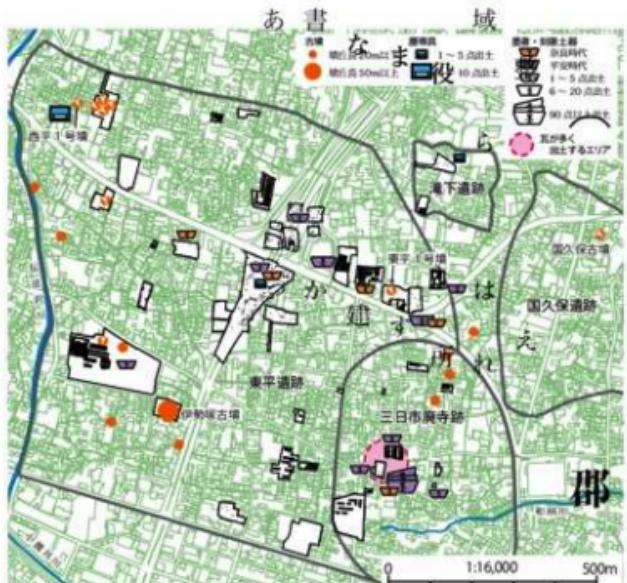
「布自」銘

墨書き土器

東平遺跡で出土した
須恵器の环です。

底部外面に「布自」と
墨書きがあります。

「布自」は「フジ」と
読み、「富士郡」または
「富士氏」を表す
ものとみられます。



MAP 5 郡家に関わる遺物の分布状況

物。まらや

古墳分布地図



この地図の作成に当たっては「国土地籍図録の承認を得て、測量実行の
野帳地図25000(復元データ基盤)を使用したものである。
測量年月 平成20年6月 第165号

富士市の古墳





富士の古墳文化

発行年月日 平成 31 年 3 月 31 日

編集・発行 富士市 市民部 文化振興課

〒417-8601 静岡県富士市永田町 1-100

TEL 0545-55-2875 FAX 0545-53-0789

E-mail : si-bunka@div.city.fuji.shizuoka.jp

印刷・製本 文光堂印刷株式会社